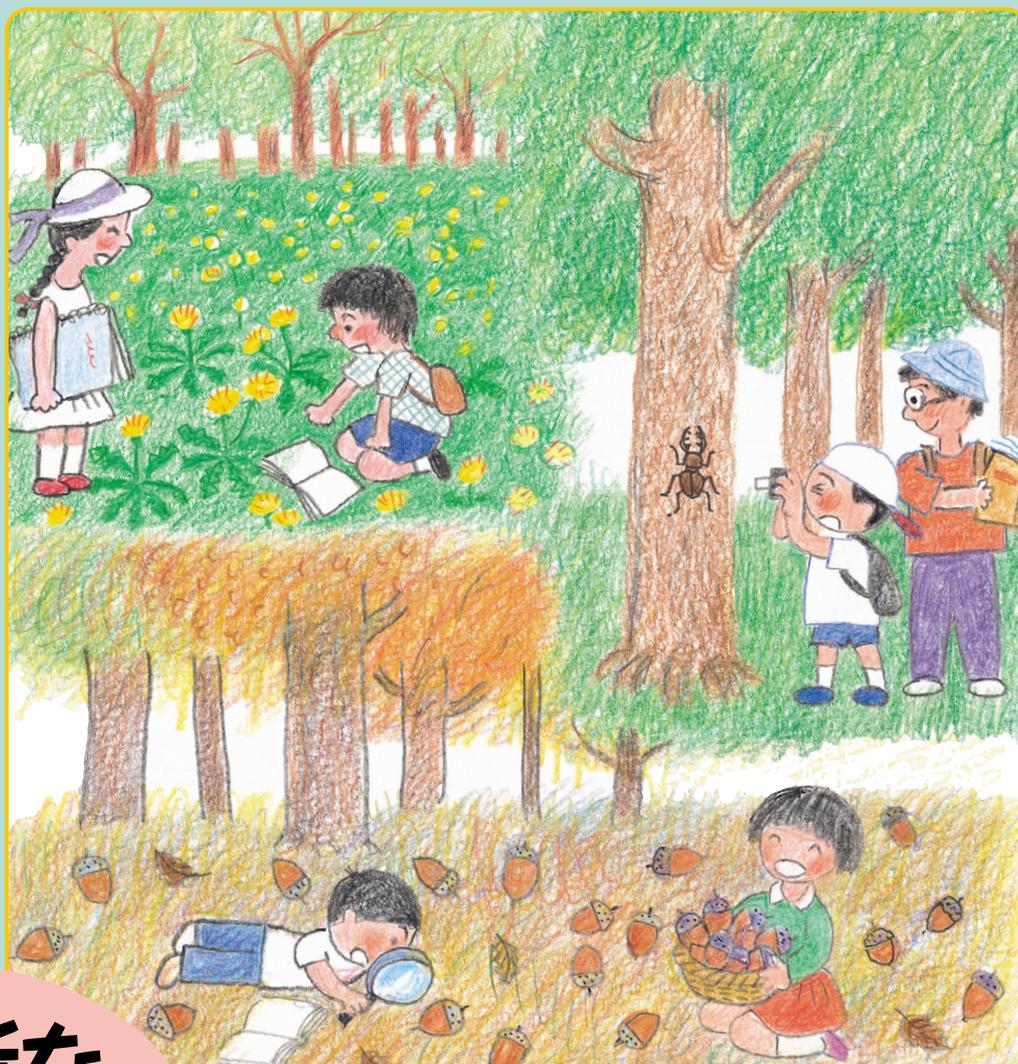




身近な林

調査結果



身近な
生きもの
調査



環境省
生物多様性センター

身近な 生きもの 調査



調査結果

身近な林

目次	ご協力ありがとうございました	2
	調査の概要	4
	調査結果	
	身近な林と動植物の出現状況	5
	調査結果	
	身近な林はどんな林？	12
	調査結果	
	身近な林と動植物の関係	16
	ドングリ調べ	16
	赤い実調べ	19
	タンポポ調べ	21
	黄色い花調べ	24
	セミのぬげがら調べ	26
	夏の虫調べ	29
	参加者からのお手紙	31
	まとめとこれからの課題	34
	身近な生きもの調査とは	36

ご協力
ありがとう
ございました

“身近な林”をテーマに、たくさんの方々にご協力いただいた「身近な生きもの調査」。みなさんから寄せいただいた貴重なデータの集大成をお届けいたします。

おかげさまで、みなさんが身近と感じている林がどのような林なのか、その林にはどんな生きものたちが暮らしているのか、今まで調べられたことのなかった身近な林に関する貴重な情報を全国規模で集めることができました。

みなさん一人ひとりからいただいたデータは、地図上の一つひとつの点や、結果に出てくる表やグラフのなかに凝縮されています。調査をしてくださった林のようすと、調査結果とを見比べていただくとともに、これからも身近な生きものや、身の回りの自然に関心を持ち続けていただきたいと思います。

また、調査期間を通じてみなさんからたくさんのお便りをいただきました。今回の調査は、今までの調査とは違って、1年間同じ林で行う調査でしたから、少しむずかしかったかもしれませんが、いただいたお手紙には、調査したときのご苦労や、いつも熱心に楽しみながら調査に参加されている方からの声、ご家族の心温まるエピソードや、学校・地域で自然観察会をされているグループの方々からのレポートなどがあって、私たちもたいへん嬉しく感じました。これらのお手紙やご意見は今後の調査の参考とさせていただきます。

一つひとつのお便りにお返事することはできませんでしたが、そのなかでも興味深いものをいくつかご紹介させていただき、この報告書をもって感謝の気持ちとお返事に代えさせていただきます。

みなさんから寄せいただいたデータをまとめた身近な林の調査結果は、今後の環境保全行政に有効に活用してまいります。

“身近な林調査”にご協力いただいたみなさんに厚くお礼を申し上げるとともに、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。



25,000名を超える 参加申し込みをいただきました

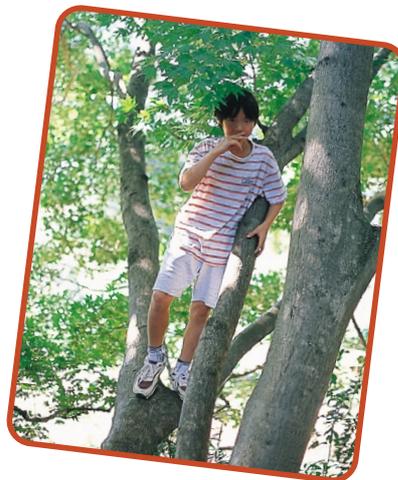
平成12(2000)年の5月以降、環境省(元環境庁)が作成した案内パンフレットや新聞・TVなどマスコミを通じてこの調査を知られた方から多数お問い合わせをいただき、秋冬調査からの参加者と春夏調査からの参加者を含め、最終的に個人・団体合計5,803件、25,646名の方から参加のお申し込みをいただきました。

下の表は、参加者数を都道府県別に集計したものです。参加者数が多かった上位5府県は、東京、神奈川、兵庫、大阪、静岡でした。

都道府県別参加状況

都道府県	参加件数(件)			参加者数(人)		
	個人	団体	合計	個人	団体	合計
1 北海道	108	85	193	108	769	877
2 青森県	24	15	39	24	244	268
3 岩手県	54	29	83	54	246	300
4 宮城県	44	34	78	44	239	283
5 秋田県	47	18	65	47	143	190
6 山形県	20	19	39	20	157	177
7 福島県	61	30	91	61	284	345
8 茨城県	72	58	130	72	624	696
9 栃木県	57	42	99	57	341	398
10 群馬県	75	37	112	75	214	289
11 埼玉県	232	116	348	232	942	1,174
12 千葉県	204	140	344	204	969	1,173
13 東京都	376	258	634	376	1,944	2,320
14 神奈川県	300	241	541	300	1,987	2,287
15 新潟県	72	53	125	72	735	807
16 富山県	18	18	36	18	287	305
17 石川県	25	26	51	25	242	267
18 福井県	27	15	42	27	120	147
19 山梨県	57	49	106	57	316	373
20 長野県	97	58	155	97	476	573
21 岐阜県	67	56	123	67	738	805
22 静岡県	90	87	177	90	1,124	1,214
23 愛知県	205	152	357	205	941	1,146
24 三重県	50	49	99	50	452	502
25 滋賀県	57	28	85	57	305	362
26 京都府	68	51	119	68	492	560
27 大阪府	113	106	219	113	1,109	1,222
28 兵庫県	152	101	253	152	1,285	1,437
29 奈良県	36	27	63	36	248	284
30 和歌山県	13	16	29	13	134	147
31 鳥取県	61	8	69	61	78	139
32 島根県	16	24	40	16	446	462
33 岡山県	77	46	123	77	413	490
34 広島県	64	38	102	64	433	497
35 山口県	46	19	65	46	117	163
36 徳島県	22	16	38	22	173	195
37 香川県	29	26	55	29	195	224
38 愛媛県	38	20	58	38	190	228
39 高知県	14	8	22	14	25	39
40 福岡県	59	64	123	59	605	664
41 佐賀県	11	5	16	11	33	44
42 長崎県	25	25	50	25	174	199
43 熊本県	24	32	56	24	354	378
44 大分県	18	24	42	18	373	391
45 宮崎県	21	14	35	21	180	201
46 鹿児島県	23	27	50	23	298	321
47 沖縄県	15	9	24	15	68	83
全国	3,384	2,419	5,803	3,384	22,262	25,646

注1)個人：参加者数が1人の場合
団体：参加者数が2人以上の場合(家族参加等も含む)



寄せられた調査票数

「身近な生きもの調査2000 2001」では、2000年に行った秋冬調査と2001年の春夏調査で、季節ごとにたくさんの調査票を送っていただきました。寄せられた調査票は、合計で24,508枚に上りました。

それぞれの調査票枚数は、以下のとおりです。

	調査票の種類	到着枚数	集計枚数
秋冬調査	林のようす調べ調査票<秋冬編>	2,821枚	2,818枚
	ドングリ調べ調査票	2,846枚	2,671枚
	赤い実調べ調査票	2,801枚	2,685枚
春夏調査	春の調査 林のようす調べ調査票<春編>	2,722枚	2,670枚
	タンポポ調べ調査票	2,765枚	2,585枚
	黄色い花調べ調査票	2,702枚	2,601枚
	夏の調査 林のようす調べ調査票<夏編>	1,796枚	1,766枚
	セミのぬげがら調べ調査票	4,379枚	4,224枚*
	夏の虫調べ調査票	1,676枚	1,631枚
	林のアルバム	264枚	—

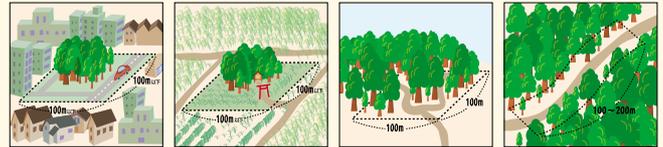
*セミのぬげがら調べ調査票については、調査地で見つかったぬげがら1個に対し、調査票1枚に記入していただいたため、他の調査票に比べて枚数が多くなっています。

注2)到着枚数と集計枚数の違いについては、4ページを参照してください。

調査の概要

調べた林は？

参加者のみなさんが住んでいる場所や学校、お勤め先近くのよく出かけられる林を選んでいただきました。調査範囲は100m四方以下の小さい林では、林の全体とその周辺を、100m四方以上の広い林や林道のようなところでは、広めの道にそって100～200mくらいを対象に、なかに入れる場合には林の縁を囲むようにして100m四方を調べていただきました。



何を調べたの？

林のようす調べ

2000年秋冬調査で1回、2001年春夏調査で2回調査を行っていただきました。

秋冬編：林の置かれている環境、林のようすや、手入れの仕方など

春編：林の置かれている環境、林の地面のようす、人々の利用の仕方など

夏編：林の置かれている環境、樹木の種類や生え方、林のゴミの状況など

秋冬調査（2000年9月～12月実施）

ドングリ調べ

調査地で見つかったドングリの果実と殻斗の実物を調査票に貼って送っていただきました。

赤い実調べ

調査地で見つかった赤い実の写真を撮り、調査票に貼って送っていただきました。

春夏調査（春の調査：2001年3～5月実施）

タンポポ調べ

調査地で見つかったタンポポの花と果実（そう果）を調査票に貼って送っていただきました。

黄色い花調べ

調査地で見つかった黄色い花の写真を撮り、調査票に貼って送っていただきました。

春夏調査（夏の調査：2001年7～8月実施）

セミのぬげがら調べ

調査地で見つかったセミのぬげがらをそれぞれ1個ずつフィルムケースに入れて、調査票といっしょに送っていただきました。

夏の虫調べ

特定の7つのグループの虫の仲間を調査地で探し、見つけた虫について写真に撮り、調査票に貼って送っていただきました。また印象に残った虫も写真で報告していただきました。

林のアルバム

林の四季の変化がよくわかるような場所を選んで、同じ位置から写真を撮り、記録としてまとめていただきました。また、自主的に送ってくださった方もいました。

また、～の調査で、調べた動植物が見つからなかった場合には、「見つからなかった」という情報を調査票に記入して送っていただきました。

（詳しい調査内容は、調査のてびきをご覧ください。か、せいぶつたようせい 生物多様性センターWebページ <http://www.biodic.go.jp/mijika/>）をご覧ください。）

身近な林・生きもの調査カレンダー

調査内容	2000年 秋冬調査	2001年 春夏調査	
	9～12月	春の調査3～5月	夏の調査7～8月
林のようすを調べる	林のようす調べ秋冬編	春編	夏編
実物を集める	ドングリ調べ	タンポポ調べ	セミのぬげがら調べ
写真を撮る	赤い実調べ	黄色い花調べ	夏の虫調べ
林のアルバムづくり	●		

分布図や集計表の作成にあたって

このページ以降にご紹介する分布図や集計表は、以下のような作業を経て作成しました。

種名の確認作業（同定作業）

送っていただいたドングリ（実物）・赤い実（写真）タンポポ（実物）・黄色い花（写真）セミのぬげがら（実物）・夏の虫（写真）は、それぞれ横須賀市自然・人文博物館の大森雄治学芸員、平塚市博物館の浜口哲一学芸員、厚木市郷土資料館の槐（えんじゅ）真史主任兼学芸員によって種や種数の確認作業（同定作業）をしていただきました。実物の状態が悪かったり、不鮮明な写真で判断に迷うものは集計から除かせていただきました。

調査地の位置の特定方法

調査票から調査地や種の分布図を作成するには、林のようす調べ

調査票にご記入いただいた林の場所のデータを用いました。

調査票にご記入いただいた都道府県名、郡名、市町村名、区名、地名をコンピュータに登録された大字名の「住所データ」と2万5千分の1地形図の地名を収録した「地名データ」に照合して、位置を特定しました。

しかし、お寄せいただいた調査票のなかには、残念ながら都道府県名だけのものや市町村名だけのもの、あるいは地名が記入されていてもコンピュータでは正確な位置が特定できないものがありました。今回は、ご記入いただいた地名から、調査地点が特定できた調査票をもとに分布図を作成しました。

集計表やグラフの作成にあたって

林のようす調べ調査票は、林の住所データに少なくとも都道府県名の記入がある調査票を対象にしました。また、季節ごとの動植物の調査票は、上記の林のようす調べ調査票があるものを対象に集計しました。